八千代町
TOWN OF YACHIYO

WASEDA University

茨城県八千代町 ＆ 早稲田大学
地域連携スタディツアー2026

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 地域資源を活かした、若者目線のまちのあり方を町に対して提案
- 八千代町の主力産業である農業を、農家さんのもとで体験します。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

食と農から考える、八千代町の未来。
～地域の未来を、学生の視点でプロデュースする～

首都圏の食を支える農業の町、茨城県八千代町。肥沃な大地と豊かな「食と農」が息づくこの町を舞台に、4 日間の地域連携スタディツアーを開催します。

AI の進化により、仕事や地域の暮らしが激変しつつある今、単なる技術活用にとどまらない地域の可能性が問われています。本ツアーでは、広大な畑や食ビジネスの最前線を巡り、家業を継ぐ農業の後継者や、新たな挑戦を始めた移住就農者、地域の食をつなぐ事業者と対話します。そして、土に触れ、現場の生きた選択や熱い思いに触れる中で、「AI に任せることと、人にしか生み出せない地域の価値とは何か」「これからの地域でどんな新しい仕事が生まれるのか」を探究します。

現場を見て、人と語り、地域の食と農を体感する 4 日間。データや机上の学びを超え、外から訪れる学生ならではの自由で新鮮な視点から「AI 時代を切り拓く八千代町の未来」をプロデュースしてみませんか？

八千代町の魅力

八千代町は、茨城県の南西部、東京から約 60km の距離にあります。温暖な気候と広大な田園地帯を有しており、古くから首都圏への生鮮食料品供給基地として発展してきました。八千代町では様々な農産物が栽培されていますが、特に生産量日本一の「白菜」、全国有数の産地である「メロン」、茨城県の銘柄産地に指定されている「梨」は市場関係者や消費者からも高く評価されています。

また、自然災害に強いということも魅力のひとつではありますが、伝統に培われたほのぼのとした農村空間の中で、人間性が豊かで温かい方が多く、住み心地の良いことが最大の魅力です。





募集概要

実施日程	2027年2月15日（月）から2月18日（木）　3泊4日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2026年11月2日（月）～11月15日（日）23：59［厳守］
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること（途中参加・早退不可）。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。
募集人数	15名　※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	①　12月に2回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ②　現地実習参加（最終日の成果報告会でプレゼンテーション） ③　終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2026春編」を検索 ②「地域連携スタディツアー2026春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は**2026年11月27日（金）までに申込時に記入したメール**にて通知します。 ※この日程前であっても、ご連絡することがありますので、よくメールを確認するようにしてください。また、当選者には、メールにて参加の意思確認をします。返信がない場合は無効になりますのでご注意ください。
連絡事項	①　本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ②　2027年2月15日から18日の現地実習は、現地集合・現地解散で、**往復交通費は自己負担**です。 ＜交通費目安＞新宿駅～八千代町役場前　片道　2,200円程度（湘南新宿ライン＋バス） ③　参加者が現地で負担する費用は、毎回の食費（朝食・昼食お弁当代@800×5　食分＝4,000　円＋夕食3回分実費）です。 ④　宿泊費、体験費用、現地の移動は、八千代町から補助をいただくので無料です。 ＜宿泊場所＞八千代グリーンビレッジ憩遊館　〒300-3565 茨城県結城郡八千代町松本592 ⑤　現地では、本学教員と自治体職員が引率します。 ⑥　早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑦　現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑧　参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑨　【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、2月から3月に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑩　本スタディツアーでは連携先、大学がインスタグラム等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑪　選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバル・エデュケーション・センター　准教授　加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

	時間	内容
1日目 2月15日(月)	13:12	八千代町役場 現地集合
	13:20–13:45	オリエンテーション
	13:45–14:15	町役場にてレクチャー
	14:30–15:10	JA常総ひかり　農産物直売所見学
	15:25–15:45	白菜畑・農村景観見学
	16:00–16:20	果樹園地域見学
	16:35–17:00	グリーンビレッジ憩遊館にチェックイン
	18:00-19:00	夕食交流会
2日目 2月16日(火)	7:00	起床、朝食
	9:00–11:45	白菜収穫体験、農家との対話
	13:15–14:45	農業継承者との対話・現地見学
	15:00–16:45	移住・新規就農者との対話・現地見学
	16:45以降	宿泊施設へ移動
3日目 2月17日(水)	7:00	起床・朝食
	8:15–10:00	とうふ工場見学、豆腐づくり体験、ヒアリング
	10:15–11:00	JA出荷場見学、ヒアリング
	午後	班別学習（プレゼンテーション作成）
4日目 2月18日(木)	7:00	起床・朝食
	8:30-8:45	チェックアウト、移動
	9:00–10:45	八千代町役場にて成果報告会
		現地解散（※参考　バス10:53発）

※天候や訪問先のご都合によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、２単位相当を要件としています。
本スタディツアーは１単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で実施しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。